

(別紙様式2)

## 平成26年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)

都道府県名：北海道  
農業委員会名：奈井江町農業委員会

### I 法令事務(遊休農地に関する措置)

#### 1 現状及び課題

現 状 (平成26年3月現在)	管内の農地面積(A) 2,002.0ha	遊休農地面積(B) 3.9ha	割合(B/A×100) 0.19%
課 題	耕作放棄地の農地については、都市計画用途区域内にある土地であり、また、高齡による労働力減少等による。賃貸もなかなか進まない状況にある。		

※ 遊休農地面積は、農地法第30条第1項及び第2項に規定する農地の利用状況調査により把握した同条第3項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

#### 2 平成26年度の目標案及び活動計画案

目 標 案	遊休農地の解消面積 1.8ha			
	目標案設定の考え方： 現状を踏まえ、利用程度が著しく劣っている農地や遊休後の期間が短いものを優先し耕作に供する。			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査実施時期	調査員数(実数)	調査結果取りまとめ時期
		9月～10月	12人	10月～11月
	調査方法	関係機関と連携を図り農地パトロールによる現地調査を行い、農地の適正な保全や利用の確認を行う。また、調査の結果を踏まえ利用意向調査を行う。		
遊休農地への指導	実施時期:11月～12月			

※1 目標案は、1年間に1の遊休農地面積をどの程度減少させるかを記入

※2 目標案には、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない(以下同じ)

#### 3 地域の農業者等からの意見等

目標案に対する意見等	0件
活動計画案に対する意見等	0件

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

#### (4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた平成26年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 1.8ha			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査実施時期	調査員数(実数)	調査結果取りまとめ時期
		9月～10月	12人	10月～11月
	調査方法	関係機関と連携を図り農地パトロールによる現地調査を行い、農地の適正な保全や利用の確認を行う。また、調査の結果を踏まえ利用意向調査を行う。		
遊休農地への指導	実施時期:11月～12月			

## II 促進等事務

### 1 認定農業者等担い手の育成及び確保

#### (1) 現状及び課題

現 状	農家数	175戸	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
	うち主業農家	125戸	125経営	0法人	0団体
	農業生産法人数	15法人			
課 題	本町における認定農業者数は今後大きな変動は予想されず、認定農業者の継続維持が課題であると共に、後継者確保及び、新規就農者の発掘が必要となってくる。				

※ 農業者や農業経営体の把握時点が異なる場合には、欄外にそれぞれの把握時点を注記

#### (2) 平成26年度の目標案及び活動計画案

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
目 標 案	1経営	0法人	0団体
	目標案設定の考え方： 現状として新規就農者はおらず、専業農業者は既に認定農業者の認定を受けていることから、この継続維持を図る。		
活動計画案	関係機関との連携を密にし、担い手に関する啓蒙活動を行う		

※1 目標案は、1年間に(1)の認定農業者、特定農業法人及び特定農業団体をどの程度増加させるかを記入

※2 活動計画案は、目標案の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

#### (3) 地域の農業者等からの意見等

目標案に対する意見等	0件
活動計画案に対する意見等	0件

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

#### (4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた平成26年度の目標及び活動計画

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
目 標	1経営	0法人	0団体
活動計画	関係機関との連携を密にし、担い手に関する啓蒙活動を行う		

## 2 担い手への農地の利用集積

### (1) 現状及び課題

現 状	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2,002ha	1,777ha	89%
課 題	高齢等による離農者の発生に伴う農地の供給は増加が予想されるが、担い手への集積には資金等経営面の問題があり、必ずしも経営効率が図られる集積とはならない。		

※ これまでの集積面積は、把握時点において担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

### (2) 平成26年度の目標案及び活動計画案

目 標 案	集積面積	8ha
	目標案設定の考え方： 高齢等による離農等の面積を勘案し設定	
活動計画案	日頃の地域活動による情報を委員会全体で共有する。必要に応じてあつせん希望の農地については、生産性、利便性など効率性を考慮しつつ、意欲ある担い手への集積を図る。また、農地中間管理事業については、機構の業務スケジュールを鑑み、適切な時期に担い手に集積、集約が図れるよう、町と連携して活動する。	

※1 目標案は、1年間に(1)の集積面積をどの程度増加させるかを記入

※2 活動計画案は、目標案の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

### (3) 地域の農業者等からの意見等

目標案に対する意見等	0件
活動計画案に対する意見等	0件

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

### (4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた平成26年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	8ha
活動計画	日頃の地域活動による情報を委員会全体で共有する。必要に応じてあつせん希望の農地については、生産性、利便性など効率性を考慮しつつ、意欲ある担い手への集積を図る。また、農地中間管理事業については、機構の業務スケジュールを鑑み、適切な時期に担い手に集積、集約が図れるよう、町と連携して活動する。	

### 3 違反転用への適正な対応

#### (1) 現状及び課題

現 状 (平成25年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)	割合(B/A×100)
	2,002ha	0ha	0.00%
課 題	現状として、違反転用は無い状況であるが、今後、いかに違反転用の早期発見を行い、是正まで結び付けられるかが課題である。		

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

#### (2) 平成26年度の目標案及び活動計画案

目 標 案	違反転用の解消面積	0ha
	目標案設定の考え方:	現状として違反転用は無く、今後においても違反転用は発生させない。
活動計画案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9～10月農地パトロールの実施</li> <li>・農業委員会広報誌等による違反転用防止の啓発</li> </ul>	

※1 目標案は、1年間に(1)の違反転用面積をどの程度減少させるかを記入

※2 活動計画案は、目標案の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

#### (3) 地域の農業者等からの意見等

目標案に対する意見等	0件
活動計画案に対する意見等	0件

※ 地域の農業者等から寄せられた主な意見等について、同内容のものは集約して記入

#### (4) 地域の農業者等からの意見等を踏まえた平成24年度の目標及び活動計画

目 標	0ha
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9～10月農地パトロールの実施</li> <li>・農業委員会広報誌等による違反転用防止の啓発</li> </ul>

#### ※その他の促進等事務

上記1から3に掲げる事務以外の促進等事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記1から3の様式に準じて取りまとめること。